

日本やばい活動の魅力強化計画 その2

基本的にB路線でいこうと思います。

Aが理想、とか、A路線と並行したいって意見も多かったのですが、A路線とB路線は、マーケティング的には、ちょっと対立する部分があるので、A路線では行きません。

メインターゲット:

ぶっちゃけほとんど政治的に興味がない若者

仮想敵:

政治を小難しくしているもの、そんな議論についていけない人を馬鹿にする人

活動目標:

政治や社会問題を分かりやすく解説したり、初心者でも参加しやすい議論の場を提供し、政治経済に興味を持ってもらうことで、日本の今後を考える若者を増やす。

若者の政治離れは、「そもそも政治・経済の問題を難しすぎるから」
政治を必要以上に小難しくして、分かりにくくする政治家、マスコミが多いから、
いろいろと忙しい若い人が、政治に興味持てないのは当然である。

イチ素人でも知っておかないといけない、必要最低限の本質は、もっとシンプル。
小難しくて毛嫌いしている人の為に、「中学生でも分かる政治・経済の議論の場」を
モットーに、「日本を考える」ことのハードルを下げるべく活動する。

ガイドライン(仮):

詳しくない人も、議論してて分からないところがあったら、ドンドン質問しよう。
知らないことは悪ではない。知らないままで、知ろうとしない姿勢こそが悪。

専門用語などが分からない人を「勉強不足だ」「本読め」などと切り捨てない。
詳しい人こそ、分からない人にも分かるように噛み砕いて教えてあげよう。

活動名:

日本やばい活動 (現状維持)

現状の「日本やばい」はたった5文字ながら、インパクトがあり、キャッチー。
一方、「不用意に煽っている」とか、変な受け取られ方をすることもある。
とはいえ最初は、興味を持ってもらうことが第一なので、現状維持でいいかと。

断言する形を改め、「日本やばくね? 活動」と問いかけの形にするのもありかも?